

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

< 環境保全活動に関する方針等 >

【環境方針】
[環境理念]

私たちは、おいしさと品質と安全にこだわり安心できる食品づくりに努めるとともに、地球環境の大切さを十分認識し、環境に配慮した企業活動を通して恵み豊かな地球の存続に貢献します。

[行動指針]

1. 事業活動全般（調達・生産・物流・販売）について、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び地球温暖化物質等の排出抑制に努め、汚染の予防を推進します。
2. 原料調達から消費に至るまで、各段階で環境に配慮した商品開発に努めます。
3. 環境に関わる法律を遵守するとともに、自主基準を設定し事業活動を行います。
4. 環境目的・目標を定め定期的に見直すことにより、環境活動の継続的改善を図ります。
5. 環境教育を通して環境意識の向上を図り、社員全員が環境活動に積極的に取り組みます。
6. 社内外に必要な環境情報を公開します。（ホームページに掲載）

（目標・計画等の公表の方法についても記載のこと。）

2 推進体制の整備

< 環境保全活動に関する組織体制 >

部署名	担当内容
管理本部 総務部 環境推進グループ	環境関連窓口
管理本部 補給部 SCMグループ	特定荷主の責任
研究・生産本部 生産部 業務グループ	省エネ法管理
研究・生産本部 生産部 工務グループ	環境測定および届出

別紙 2

3 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画 (2011年度計画)
1. 温暖化ガスに換算したエネルギー量を2008年度に対し原単位で2%程度削減する。 (各製造グループ)	<p>・飲料グループは、2009年度比=96.2%で目標を達成。</p> <p>・粉体グループは、2009年度比=85.8%で目標を達成。</p> <p>基準年度を省エネ法に合わせるため、2008年度から2009年度に変更。(2009年度比1%削減)</p>	1. 原油に換算したエネルギー量を2009年度に対し原単位で2%程度削減する。
2. 環境マネジメントプログラムの手段、ノー残業デーを月2回実施により温暖化ガス使用量を2008年度より削減する。(製造グループを除く全部署)	<p>ノー残業デーの月2回実施、空調機の温度設定厳守、昼間の消灯等の省エネ活動を実施。</p> <p>伊丹地区全体の温暖化ガス量は、2008年度比92%に減少したが、製造Gを除く全部署では、2008年度比108%で未達となった。</p> <p>要因: 製造第二Gの生産量減に伴い、変形交替制勤務による休日勤務がなくなり、休日稼働のボイラー使用による都市ガスが食品科学研究センター動物実験室のみとなった為。</p>	2. 環境マネジメントプログラムの手段、ノー残業デーを月2回実施により原油に換算したエネルギー量を2009年度に対し原単位で2%程度削減する。
3. 輸送方法の効率化の推進。 LPG、ガソリンの消費量を2008年度に対し削減する。 (燃費改善)	<p>・改正省エネ法(特定荷主の責任)に基づき、モーダルシフト(トラックからJRへ)を実施している。</p> <p>・アイドリングストップの励行など、LPG、ガソリンの消費量の削減に取り組む中。LPGは横ばい(0.1%減少)、ガソリンは減少した。(14%減)</p>	3. 輸送方法の効率化の推進。 LPG、ガソリンの消費量を2008年度に対し削減する。(燃費改善)
4. 廃棄物量(原材料、製品、飲料廃液)を2008年度より削減する。	<p>・廃棄物量は、2008年度比68%に減少し目標を達成した。</p>	4. 廃棄物量(原材料、製品、飲料廃液)を2008年度より削減する。
5. 廃棄物の再資源化率を99%以上を維持する。	<p>・再資源化率は、若干目標未達の96.5%となった。(2008年度は99.0%)</p>	5. 廃棄物の再資源化率を99%以上を維持する。
6. 工場排水負荷(COD負荷量)を2008年度より減少させる。	<p>・2008年度より工場排水負荷も減少し目標を達成した。</p> <p>・汚濁防止への継続的な取組み、適切な希釈実施および排水処理設備の導入が負荷低減に繋がり、排水のBOD、COD値等は安定的に推移した。(基準値を超えることは無かった)</p> <p>(下水道の排水規制値、自主規制値ともに適合)</p>	6. 工場排水負荷(COD負荷量)を2008年度より減少させる。

7. 製品包装資材の改良を検討し実施する。	・包装設計 119 件 ・容器の軽量化、段ボールケース材質低減等を実施。	7. 製品包装資材の改良を検討し実施する。
8. 紙使用量を2008年度に対し削減する、コピー紙の再生紙使用率99%以上を維持する。	・電子化による帳票出力、営業チラシ等配布資料の減少により、2008年度比73%と大幅な削減となった。 ・コピー用紙の再生紙比率も99.2%で達成した。	8. 紙使用量を2010年度に対し5%削減する、コピー紙の再生紙使用率99%以上を維持する。
9. 環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステム運用	運用の継続的改善を行なう。
10. 環境教育	・内部環境監査員教育の外部教育の実施 ・各グループ単位の環境教育(年度計画)の実施	同左
11. 地域社会活動への参加	・事業場周辺の清掃活動(週1回) ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年2回5月、12月)	同左 ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年2回5月、12月)